

茂住さん、書の楽しさ伝える

児童に書を手ほどき
する茂住菁邨さん
＝高山市花里町、市
勤労青少年ホーム



高山市で子どもに手ほどき

書家の茂住菁邨^{せいそん}さん＝飛
騨市出身＝が子どもたちに
書の楽しさを伝える催しが
20日、高山市花里町の市勤
労青少年ホームなどで開か
れた。24日まで5日間にわ
たって学校や福祉施設でワ

ークシヨップや講演を行
う。

住民らでつくる実行委員
会が主催。さまざまの子ど
もに墨書に触れ合ってもら
おうと、児童養護施設やフ
リースクールなどで、15回

を予定している。

初日は小学生ら10人が、
同ホームでうちわ作りに挑
戦した。茂住さんは「上手
に書くことより、気持ちよ
く書くことが大事」と話し、
筆の持ち方を指導。参加者
は茂住さんの手本をまねて
「線香花火」「打ち水」な
ど思い思いの言葉を筆ペン
でうちわに書いた。「天の
川」と書いた北小4年の岩
佐茜莉さん(9)は「いつも
よりいい字が書けた」とう
れしそうだった。

24日には高山市の花里小
学校体育館で、茂住さんと
飛騨高山高校のコラボパフ
オーマンスと講演会があ
る。午後5時30分から、入
場は無料。(安井真由子)